

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(78)5400番
平成18年3月1日発行
第367号
○右の題字は「徳富蘇峰さん」
の顔を写したものです。



**“生涯”が“学習”
あけぼの大学**

あけぼの大学も卒業の時期になりました。一年間をとおして「無欠席」の受講者が十四名おられました。大変な努力の賜物だと思います。小中学生ならば一年間には相当数いるのも頷けます。あけぼの大学のようになにの講座、実技等においても回数はいくつかも知れませんが無欠席で受講される方は「体力」「気力」それに熱意がなければできないことだと思います。俗にいう「三日坊主」になりがちです。

あけぼの大学は卒業も進級もありません。「生涯」が「学習」と思えます。高齢者の力ルチャー講座です。高齢者ならば「何時」でも「何処」でも「何方」でも受講できます。是非参加されて楽しみながら教養を身につけて下さい。

(写真 平国校区の皆様)

一言

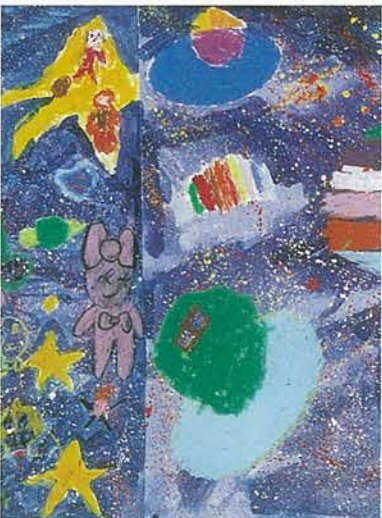
デコボコン、甘夏の収穫も終わり、黄色に色づいた景色もなくなりました。ここ数年、後継者が少なくなり、年配の人達の農作業が目立ちます。それでも、収穫期にはどうしても人手は欠かせません。日頃は勤めに出ている子どもの休みを利用して、家族総出で収穫の様子は微笑ましい限りです。少子化、核家族化が進む昨今ですが、この日はやはり、子どもや孫の顔を見ながら日頃の疲れも忘れて、収穫も捗るようです。しかし、数年前まではよく見られたこの光景さへも年々少なくなり、寂しさを感じます。

学校や家の周りを走り回っていた頃を思い出しながら、一家団欒の楽しさを感じたい。子どもたちが家族の大切さを感じ、大勢の家族と暮らしたい。と思うような津奈木町になって欲しいものです。そのために家庭や地域社会が果たす役割を大人が真剣に考え、子どもに伝えていく責任があると感じています。

(平国太郎)



「ラストパートだ」
津奈木小5年 成田はる香



「ちきゅうが大きい」
津奈木小2年 野口せれな



「楽しいな、川のすべり台」
赤崎小2年 高木ともみ

子ども美術館 (36)
(十七年度文化祭奨励賞)

平成17年度 津奈木町 (御案内)
生涯学習フェスティバル

手をつなぎ
学ぶ楽しさ
生かす喜び
(津奈木町生涯学習キャッチフレーズ)

生涯学習として町民講座や自主的な文化活動に頑張っておられる方々の1年間の学習の成果を発表します。また、町内小学校児童の太鼓や劇なども行われます。皆様のご来場をお待ちしております。

発表部門
2006年3月5日(日) 12:30開場/13:00開演

展示部門
2006年3月1日(水) 9:00→17:00
→3月5日(日) ※ただし5日は9:00→16:00

開催場所
つなぎ文化センター
◎主催/津奈木町公民館
津奈木町教育委員会
tel0966-78-5400 FAX0966-68-4945

「躍進賞」本町出身選手が活躍
熊日郡市対抗女子駅伝

去る、一月二十九日(日)第二十三回熊日郡市対抗女子駅伝大会において、津奈木町代表選手七名中(補員は除く)四名の選手が本町出身者でした。柳迫春香、安由美選手の一、二区の姉妹コンビ、四区は藤原恵美選手(千原台高校三年)、六区松田千恵美選手(熊本中央高校一年)が、各区分で力走し、津奈木チームの原動力となり、昨年の二十位から一躍十二位に大躍進し、「躍進賞」を受賞しました。四名とも、厳しい練習で得た努力の成果だと思われます。



三月行事予定
○卒業式
(開演午後六時三〇分)
熊本の方言によるオペラ公演を行います。演目は、「おもての結婚行進曲」で面白、可笑しいオペラです。地元コーラスグループの皆さんも「おもてさん」のご近所さん役で出演します。気軽にご来場下さい。

校名	卒業式	卒業生数
津中	3月13日(月)	71名
津小	3月23日(木)	37名
赤小	〃	4名
平小	〃	10名

編集後記

三月といえば「螢の光窓の雪」。「仰げば尊し」の歌があちこちで聞こえてくる卒業式シーズン。聞く度に心が引き締められ、口ずさみながら、あの頃の仲間達を懐かしく想い出されている方々も多いのではないのでしょうか。

数十年前のベビーブームの頃と、今の少子化とは式のスケールの差こそありますが、やはりいつまでも変わらないのが、夢と希望に満ちた顔々、祝福の言葉を掛けて下さる周りの方々。忘れてませんよ。何十年経っても生きてます、あの言葉。卒業生の皆さん、幸多かれとエールを送ります。

見つめ直そう！地域の教育力

実践発表と講演会

県教育委員会、芦北水俣地域教育力活性化協議会の主催で、一月十五日(日)、つなぎ文化センターにおいて「見つめ直そう！地域の教育力」をテーマに、実践発表と講演会が開催されました。

子どもを取り巻く環境が変化し、地域が一体となって人間性豊かな青少年を育成することの必要性が高まっています。「地域の子どもは地域で育てよう」という共通理解を広げ、地域教育力の活性化を目的とした取り組みです。

事例紹介では、①郷土芸能継承による地域教育力



津奈木幼稚園児のオープニング



津奈木中学生徒会がボランティアで参加

地域の子どもは

久木野校区では、ある試合での大きな学校の子どもたちに対する小さな学校の子どもたちのコンプレックスを思わせる言葉で、地域に誇りをもち、それが自信へと繋がる試みとして伝統芸能を継承し、守り、伝承する取り組みが地域ぐるみで始められたようでした。

また、地域の子ども教室では、平日の放課後や、土曜日の子どもの居場所づくりとして活動を展開されています。子どもたちにとって楽しい時間であり、普段できない体験の場となる工夫が盛沢山企画され、様々な活動を通じて、心身ともに元気で、心豊かに育つことを目指した教室です。袋教室の下山さんは、「子どもたちが安心して過ごせる場、ほっとステーションの役割ができれば」と発表されました。

野外活動・体験学習

県立あしきた青少年の家

二月十八日(土)、海洋クラブ員は芦北町鶴木山の県立あしきた青少年の家で野外活動体験学習をしました。学校で体験できない施設で経験しますから違った雰囲気になるので開放感と緊張感が交錯しています。暫く経つとすっかり雰囲気にも慣れて伸び伸びと活動が始まります。焼き杉板を使つての製作、いろいろなアイディアが出てきました。製作の途中では手助け、協力、心づかいと様々な体験をしながら作品を仕上げました。昼食は子ども達の大好き



体験学習についての説明

図書館だより

年度末になり様々な図書を購入して町民の皆様のお越しをお待ちしています。文化センターや、教育委員会にお出かけの際は、図書館で立ち読みでもしませんか。

(購入図書の一例)

県庁の星、あおぞら、きみの友だち、水滸伝、土の中の子供、バカなおとなにならない脳、看守眼、ティモンとサラの絵本、怪盗シヨコラ、あらしのよる



小学校三年生の夏、遊びに行った祖母の家は、地元赤崎にあり、草木が生い茂っています。近くの森へクワガタを捕りに行ったときのことで、森に入ると涼しく感じ、いいにおいがしました。クワガタはいままででしたが、森の中で感じた不思議な感覚が印象に残りました。父に話すと、「森は生きている」を読むといいよと教えてくれました。

読書感想文 「森は生きている」を読んで

津奈木中3年 西平 靖

「森は生きている」は木や森のメカニズムについて書かれている本です。この本を通して、紙やゴムなどの資源や、接着剤や薬品の原料が森林起源のものだということを知りました。

また、森は降った雨を一度蓄えて、洪水や土砂崩れを防いでいます。そして、蓄えている間に水を浄化してくれました。

自分たちの地域を見直してみると、津奈木町の森林はとても豊かだと思えます。しかし、果樹園の中には後継者不足のため、手入れがされずに雑草が生えてきている所もあります。だから私たち町民が協力して管理をしていくことが大切だと思います。

このように、人間は森を守り、そのお返しに木々は恵みをもたらしてきたのです。

家菜隊で

いきいきと

ここに、こんな人が... 高見岩雄さん 長年勤められたチッソを退職され、農業委員・民生委員と地域のために尽力され、現在ではつなぎ家菜隊の一員として頑張っておられます。パソコン・カメラビデオ等の趣味をお持ちの高見さんですが、退職されてから本格的に野菜作りに取り組んで、自分の



育苗ハウスにて

家で食べるだけの野菜づくりでしたが、今ではふれあいの店に出品することを、楽しんでおられます。

染竹地区で家菜隊(十一名)で発足して五年、芦北振興局の指導を受け、会員同士で意見交換をしながら、楽しく野菜を作り、併せて親交を深めておられます。何か苦労はありませんかとおたずねしたところ、専門書や、指導員の話聞きながらやっているのですが、収穫時期を早めたり、ずらしたりが出来なくて、いろいろやっておられますが、思うようにはいかないようです。

「楽しみは」の問いには、「つなぎ温泉四季彩に行くこと」の答えでした。温泉にいかないと一日が終わらないようです。「温泉で出来たお友達が、顔を見せな

ら、楽しく野菜を作り、併せて親交を深めておられます。何か苦労はありませんかとおたずねしたところ、専門書や、指導員の話聞きながらやっているのですが、収穫時期を早めたり、ずらしたりが出来なくて、いろいろやっておられますが、思うようにはいかないようです。



高見さん御一家

いと、安否を気遣ってくれます」と笑顔で話される高見さんでした。

お孫さんに囲まれての六人家族、楽しい食卓が想像できます。(石田記)

随筆



心に残る一言

平川公德(津奈木小)

所と電話番号を交換し合った一言である。

見知らぬ者同士が、昨年の最後の日に、同じ思いで、同じ時間にゴルフ場に行

き、受付でばったり出会った。ゴルフ好きであり、同じ高校の先輩後輩でもあることから、これから帰省された時は、いっしょにラウンドしようということになり、住

「神様に会わせていただいたご縁」である。このご縁を大切に、それぞれが持ち味を十分に発揮しながら、津奈木小学校の教育をよりよきものにしていきたいと考えるこの頃である。

短歌

本郷武雄選

肥後狂句

つなぎ短歌会 友どちに真こめし鏡餅 今年も飾り佳き年迎かう 福田ハ重子

天高し流れ星見る秋の夜 幼き頃には返る 西川 ムキ

月に一度白髪見かねて染めくるる 吾娘のやさしいわらわれし 白浜美和子

背伸びしてなべてとどかぬ事はかり 老いとばかりな哀しみなるか 加来 道子

病む夫の癒えて帰れば共に見む 花と思ひしにねがひかなわす 西 滋子

初雪をわけて採り来し白菜に 小さな青虫ひとつがひそむ 寺本ツルヲ

加工所の雨戸をたたく春嵐 ひとりの夜葉ようやく終る 野田 渚子

筆無精 その分口は達者です お転婆が こんごる娘らしゅうなり 達生

筆無精 ワープロにより助けられ お転婆が 旦那次第でしとやかに 寅之助

筆無精 ボケ防止にや悪かといばい お転婆が あげんも変るもんたいな 神無月

筆無精 銭を送れとメールする お転婆が 足しびらせて御点前を 宰相

筆無精 ひまは有ったちゃ書きださん お転婆が よかはあちゃんになつとらす 万葉

〔次回の筈〕 ○花見酒 ○熱中して 一笠一句を 四月十日(用迄 津奈木町教育委員会へ)